

4 指導計画

時	学 習 の 流 れ	数 学 的 な 考 え 方
1	いろいろな変化の様子 の 考察 と、伴って変わる数量関係の考察	伴って変わる2つの数量の対応や特徴がわかる。
2	比例の定義と性質	時間の増加に伴って、水の深さはどのように変わるか、対応と変化の両面から考察することができる。
3	比例の事象の判断	比例の定義や性質から、比例する事象を判断することができる。
4	比例の式	「 x の値をきめれば、 y の値がきまる」という関係から、 $y = \text{きまった数} \times x$ の式が導きだせる。
5 6	比例のグラフ	比例のグラフの特徴である ① 直線になる。 ② 横軸と縦軸の交わる点を通る。 がわかる。
7	いろいろな変わりかたのグラフ	伴って変わる2つの量のうち、比例関係でない2つの数量関係のグラフを、比例のグラフと対比して考えることができる。
8 9	比例をつかって（本時1/2）	実測しながら、比例関係に着目して間接測定の意味がわかり、問題を解決することができる。
10 11	練習と評価	比例の関係に着目して、式や表、グラフなどを用いて、能率よく問題を解決することができる。

5 本時の学習指導

(1) 目標

ロープやホースの長さを求めるのに、重さや長さを利用して間接的に求めることができる。